

# ミュージアムITセミナー

2017 in 東京

先着90名限定  
**無料** 研修会

## 開催主旨

日進月歩で進化を続けるIT環境。周辺が激変する中、私たちはどう対処すべきなのか。ミュージアムの情報環境改善に向けて、各分野の専門家が知見を公開してくださる貴重なセミナーが実現しました。

## セミナー内容

- 講演 1 ミュージアムにおける映像活用
- 講演 2 ミュージアムにとっての3D計測データ
- 講演 3 ミュージアムと写真
- 講演 4 ミュージアムITの将来像

## 開催情報

日時	平成29年1月30日（月） 10:30~17:30
会場	筑波大学東京キャンパス文京校舎 121講義室
主催	筑波大学 図書館情報メディア系
共催	株式会社ミュージアムメディア研究所
事務局	ミュージアムITセミナー実行委員会

申込フォームQRコード  
（読み込んでお申込ください）



お申込は、ミュージアムメディア研究所のホームページ（<http://www.museummedialabo.jp/>）から申込フォームへお進みいただくか、右上のQRコードから申込フォームを開いてください。

# プログラム

受付 10:00~10:30

主催者挨拶等 10:30~10:40

**講演 1** 10:40~11:40  
(60分)

## ミュージアムにおける映像活用

展示、解説、広報など、ミュージアムにおける映像活用が拡大している。スマートフォンやSNSを利用して、手軽に安価に映像制作を行う方法を事例とともに紹介する。

講師：筑波大学 図書館情報メディア系 教授 西岡貞一

**講演 2** 13:00~14:00  
(60分)

## ミュージアムにとっての3D計測データ

3Dプリンタの利用拡大に伴い、3Dデータの利用が盛んになってきている。欧米の大規模館を中心に、収蔵品の3Dデータが公開され、日本においても利用普及が始まりつつある。国内の一般的なミュージアムが、3Dデータを作り、活かす方法を、事例を交えて紹介する。

講師：大手前大学史学研究所 研究員 岡本篤志

**講演 3** 14:10~15:10  
(60分)

## ミュージアムと写真

写真が初めて重要文化財に指定されてから18年が経ち、指定品は増加し続けている。一方で、日々撮影される資料写真は、ミュージアムに堆積し続ける。多岐にわたる「写真」をいかに管理し、活用するべきか。災害を見据え、デジタル写真も踏まえて博物館と写真の関わりを考察する。

講師：東京都写真美術館 学芸員 三井圭司

**講演 4** 14:10~15:10  
(60分)

## ミュージアムITの将来像

いよいよ動き始めたミュージアムのIT対応。国内外の先進事例、デジタルアーカイブの最新動向、スマートフォンなどを活用する新しい情報発信法に触れながら、予算と負荷をかけずに「先進館に追いつく」ためのテクニックを紹介。

講師：早稲田システム開発株式会社 代表取締役 内田剛史

情報交換会 16:30~17:30

閉会 17:30

# ミュージアム ITセミナー

## 参加費

無料

## 参加対象者

博物館学芸員 先着順  
博物館情報担当者 定員90名  
その他博物館関係者

## 申込方法

インターネット申込フォームより

ミュージアムメディア研究所のWebサイト  
(<http://www.museummedialabo.jp/archives/331>)の  
ページ内に、申込フォームへのリンクを用意  
しました。サイトにアクセスしてください。

こちらのQRコードからも  
申込フォームに直接アクセ  
スできます。



## 会場アクセス



〒112-0012  
東京都文京区大塚3-29-1  
東京メトロ丸ノ内線  
茗荷谷駅徒歩5分

【当日緊急連絡先】  
03-6457-8551  
ミュージアムメディア研究所